

消 防 団



北本市消防団第2分団ポンプ車（令和5年度更新）

《 鴻 巣 市 消 防 団 》

- 平成20年4月1日 鴻巣市鴻巣消防団、鴻巣市吹上消防団、鴻巣市川里消防団が統合し鴻巣市消防団として結団した。
鴻巣市消防団長に島田佳久氏が就任した。
- 平成23年3月23日 消防ポンプ自動車2台購入し、第1、16分団に更新配置した。
10月20日 第16分団の旧消防ポンプ自動車1台を東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市消防団へ譲渡提供した。
10月26日 消防警戒車1台購入し、本部へ新規配置した。
- 平成24年4月1日 鴻巣市消防団長に関根哲男氏が就任した。
- 平成25年1月23日 消防ポンプ自動車4台購入し、第5、10、17、19分団に更新配置した。
- 平成26年2月18日 消防ポンプ自動車1台購入し、第12分団に更新配置した。
11月6日 消防警戒車1台購入し、本部へ新規配置した。
- 平成27年2月17日 消防ポンプ自動車1台購入し、第14分団に更新配置した。
10月15日 第22回全国女性消防操法大会において鴻巣市女性消防隊が優秀賞（第4位）を受賞した。
- 平成28年3月25日 第4分団機械器具置き場を市内宮地4丁目127-1へ移転新築した。
7月6日 消防ポンプ自動車1台購入し、第6分団に更新配置した。
11月1日 女性消防分団を発足した。
- 平成30年3月2日 消防ポンプ自動車1台購入し、第11分団に更新配置した。
- 平成31年1月18日 消防ポンプ自動車1台購入し、第15分団に更新配置した。
- 令和2年3月3日 日本消防協会より、竿頭綬を授与される。
- 令和2年4月1日 鴻巣、川里、吹上方面隊の編成から、第1、第2、第3、第4方面隊に再編した。
鴻巣市消防団長に水澤勉氏が就任した。
- 令和4年4月1日 鴻巣市消防団は、20分団制から17分団制に再編した。
- 令和6年4月1日 鴻巣市消防団は、17分団制から15分団制に再編した。
分団名を方面隊順に欠番を無くし整理した。
各分団の定員を20人又は25人に改正した。
条例定員を441人から357人に改正し、内、機能別団員定員30人を導入した。
鴻巣市消防団長に田沼晃氏が就任した。

《 鴻 巣 市 鴻 巣 消 防 団 》

- 昭和30年4月1日 鴻巣町を中心に、箕田村、田間宮村、馬室村、笠原村の1町4村が昭和29年7月1日合併し同年9月30日常光村が加わって同日市制を施行、旧町村の消防団組織を統合して26分団、団員数755名をもって鴻巣の消防団を組織した。
初代団長に杉浦幸太郎氏が就任した。
- 昭和31年4月1日 鴻巣市消防団長に松谷真道氏が就任した。
- 昭和34年2月 鴻巣市消防団は、昭和32年4月消防改革4ヶ年計画を樹立して市街地を4ヶ分団にして各地区を1ヶ分団制にして昭和34年2月9分団225名の消防団を組織した。
10月24日 鴻巣市消防団長に福田豊氏が就任した。
- 昭和36年1月26日 鴻巣市消防団長に竹沢甚一郎氏が就任した。
- 昭和43年11月13日 第1分団車庫の改築をした。
11月30日 消防ポンプ自動車1台購入し、第1分団に配置した。
- 昭和44年1月15日 第5分団車庫の改築工事をした。
8月1日 消防ポンプ自動車1台購入し、第5分団に配置した。
- 昭和45年8月 消防ポンプ自動車1台購入し、第6分団に配置した。
- 昭和46年12月30日 消防ポンプ自動車1台購入し、第7分団に配置した。
- 昭和47年11月20日 消防ポンプ自動車1台購入し、第8分団に配置した。
- 昭和49年10月28日 消防ポンプ自動車1台購入し、第4分団に配置した。
- 昭和50年12月16日 消防ポンプ自動車1台購入し、第3分団に更新配置した。
- 昭和55年4月1日 鴻巣市消防団長に福島一郎氏が就任した。
- 昭和57年12月14日 消防ポンプ自動車1台購入し、第5分団に更新配置した。
- 昭和59年4月1日 鴻巣市消防団長に木村定八氏が就任した。
- 昭和60年2月28日 消防ポンプ自動車1台購入し、第6分団に更新配置した。
- 昭和62年3月17日 消防ポンプ自動車1台購入し、第7分団に更新配置した。
- 昭和63年3月10日 消防ポンプ自動車1台購入し、第8分団に更新配置した。
10月26日 消防ポンプ自動車1台購入し、第9分団に更新配置した。
- 平成2年3月14日 消防ポンプ自動車1台購入し、第4分団に更新配置した。
- 平成3年2月27日 消防ポンプ自動車1台購入し、第3分団に更新配置した。
3月26日 第3分団機械器具置場を市内東3丁目に移転新築した。
第6分団機械器具置場を市内原馬室に移転新築した。
4月1日 鴻巣市消防団長に松本昭一氏が就任した。
- 平成4年2月27日 消防ポンプ自動車1台購入し、第2分団に更新配置した。
- 平成7年9月29日 第1分団機械器具置場を市内人形2丁目に移転新築した。
10月24日 消防ポンプ自動車1台購入し、第1分団に更新配置した。

平成9年3月26日 第8分団機械器具置場を市内郷地に移転新築した。
11月18日 消防ポンプ自動車1台購入し、第5分団に更新配置した。

平成10年2月6日 小型動力ポンプ（B3級）4台購入、第1、3、5、7分団に配置した。
3月7日 日本消防協会より表彰旗を授与される。

平成11年2月3日 小型動力ポンプ（B3級）5台購入、第2、4、6、8、9分団に配置した。

平成12年3月15日 消防ポンプ自動車1台購入し、第6分団に更新配置した。

平成13年4月1日 第5分団機械器具置場を市内登戸に移転新築した。

平成14年4月1日 鴻巣市消防団長に岡村初郎氏が就任した。

平成15年2月5日 第7分団機械器具置場を市内箕田に移転新築した。
3月14日 消防ポンプ自動車1台購入し、第7分団に更新配置した。
4月1日 女性団員（5名）を採用した。
11月4日 消防ポンプ自動車2台購入し、第8、9分団に更新配置した。
11月10日 第9分団機械器具置場を新築した。

平成17年10月1日 市町合併により、鴻巣市鴻巣消防団へ名称変更した。

平成18年3月10日 消防ポンプ自動車1台購入し、第4分団に更新配置した。

平成19年2月14日 消防ポンプ自動車1台購入し、第3分団に更新配置した。

平成20年2月13日 消防ポンプ自動車1台購入し、第2分団に更新配置した。
3月31日 鴻巣市鴻巣消防団を解団した。

《 鴻 巣 市 吹 上 消 防 団 》

昭和30年 吹上町消防団は、消防組、警防団を経て昭和22年4月勅令を以て吹上町、小谷村、下忍村に消防団が組織された。

その後、昭和30年町村合併により吹上町消防団として発足、当初編成としては9ヶ分団であったが、その後7ヶ分団に統合整備された。

昭和33年4月 吹上町消防団長初代団長に田沼年次氏が就任した。

昭和36年10月 埼玉県消防協会より、表彰旗受賞

昭和38年4月 消防自動車状況

分団	消 防 自 動 車
第 1	消防ポンプ自動車ダッチいすゞ
第 2	三輪ポンプ自動車ニッサン
第 3	消防ポンプ自動車ニッサンジープ
第 4	消防ポンプ自動車ニッサンジュニア
第 5	消防ポンプ自動車ニッサンジュニア
第 6	消防ポンプ自動車ニッサンジープ
第 7	消防ポンプ自動車いすゞ

昭和41年4月 吹上町消防団長に吉田源九氏が就任した。

昭和44年 第1分団に水槽付消防ポンプ自動車（タンク容量1,500ℓ）を新たに第3分団、第6分団に消防ポンプ自動車（ニッサンFR40）を配備した。

昭和46年4月 吹上町消防団長に柏崎弘二氏が就任した。

昭和51年 第5分団機械器具置場を新設した。

昭和55年 第1分団に消防ポンプ自動車（いすゞ）を追加配備、第1分団B隊とする。

3月 日本消防協会より、表彰旗受賞

昭和56年 第4分団、第5分団の消防ポンプ自動車を更新した。

昭和57年 第7分団機械器具置場新設及び消防ポンプ自動車を更新した。

昭和58年 第2分団機械器具置場を新設した。

昭和59年 第1分団機械器具置場を新設した。

第2分団消防ポンプ自動車を更新した。

昭和61年 第3分団、第6分団機械器具置場（ホースリフター付）を新設した。

第3分団、第6分団消防ポンプ自動車を更新した。

昭和62年 第4分団機械器具置場（ホースリフター付）を新設した。

昭和63年4月 吹上町消防団長に石川春吉氏が就任した。

平成元年 第1分団B隊消防ポンプ自動車を更新した。

平成2年 第1分団、第5分団機械器具置場にホースリフターを設置した。

平成3年	第7分団機械器具置場にホースリフターを設置した。
平成4年	第2分団機械器具置場にホースリフターを設置した。
平成6年	第1分団A隊消防ポンプ自動車を更新した。
平成7年3月	消防庁長官より、竿頭綬を授与される。
平成7年	第4分団消防ポンプ自動車を更新した。
平成8年7月	日本消防協会より、動力ポンプ付積載車の寄贈を受ける。
平成9年4月	吹上町消防団長に澤本正彦氏が就任した。
平成9年	第5分団、第7分団消防ポンプ自動車を更新した。
平成10年	第2分団消防ポンプ自動車を更新した。
平成13年	第3分団消防ポンプ自動車を更新した。
平成14年	第6分団消防ポンプ自動車を更新した。
平成16年	第1分団消防ポンプ自動車を更新した。
平成17年10月1日	市町合併により鴻巣市吹上消防団へ名称変更した。
平成20年3月31日	鴻巣市吹上消防団を解団した。

《 鴻 巣 市 川 里 消 防 団 》

- 昭和29年3月 町村合併促進法に基づき屈巢村、共和村、広田村の三ヶ村が合併、川里村となる。
合併により川里村消防団を設置、屈巢分団、共和分団、広田分団に改組
消防団長に場橋武雄氏が就任した。
- 昭和32年4月 川里村消防団長に武藤四郎氏が就任した。
- 昭和35年4月 川里村消防団長に川辺先氏が就任した。
- 昭和38年4月 川里村消防団長に横田正氏が就任した。
- 昭和41年4月 川里村消防団長に片山義雄氏が就任した。
- 昭和42年4月 川里村消防団長に矢澤喜三郎氏が就任した。
- 昭和43年4月 川里村消防団の共和分団を第1分団、広田分団を第2分団、屈巢分団を第3分団と改称、定員
141名と定める。
- 5月 川里村消防団長に岡田一郎氏が就任した。
- 昭和46年4月 川里村消防団長に大山武一氏が就任した。
- 9月 川里村消防団長に安野健一氏が就任した。
- 昭和50年4月 川里村消防団長に久保正一氏が就任した。
- 昭和52年4月 川里村消防団長に渡辺保氏が就任した。
- 昭和55年4月1日 川里村消防団長に小林富蔵氏が就任した。
団員の定員を60人に改める。
- 昭和57年4月1日 川里村消防団長に荒川泉氏が就任した。
- 昭和59年4月1日 川里村消防団長に相原栄氏が就任した。
- 平成2年4月1日 川里村消防団長に片山幸生氏が就任した。
- 平成6年4月1日 川里村消防団長に岡部茂美氏が就任した。
- 平成8年4月1日 団員の定員を63人に改める。
- 平成10年4月1日 川里村消防団長に関根貫治氏が就任した。
- 平成13年5月1日 町制施行により、川里町消防団とした。
- 平成15年4月1日 川里町消防団長に朝見良治氏が就任した。
- 平成17年10月1日 市町合併により、鴻巣市川里消防団へ名称変更した。
- 平成20年3月31日 鴻巣市川里消防団を解団した。

《 桶 川 市 消 防 団 》

- 昭和30年1月 桶川町、加納村の一町一村が合併し、桶川町消防団として発足
初代消防団長に臼田徳太郎氏が就任した。
- 3月 川田谷村が桶川町に合併した。
2代目消防団長に前島誠一氏が就任した。
- | | | |
|--------|-----------|-------|
| 消防団の編成 | 分 団 数 | 20 分団 |
| | 団員総数 | 590 名 |
| 消防車両数 | 消防ポンプ自動車 | 3 台 |
| | 手引動力ポンプ | 1 台 |
| | 小型動力ポンプ | 13 台 |
| | 腕 用 ポ ン プ | 3 台 |
- 小型動力ポンプ3台購入、第4、5、6分団配置の腕用ポンプを更新した。
- 昭和31年4月 消防団条例の改正により団員定数602名とした。
- 9月 消防ポンプ自動車購入、第2分団配置の手引動力ポンプを更新した。
- 昭和32年3月 3代目消防団長に前島好文氏が就任した。
上尾町の一部井戸木地区が桶川町に編入合併し、1ヶ分団が増設され21分団の編成となる。
- 7月 小型動力ポンプ1台購入、第21分団に配備した。
- 9月 第1分団配置の消防ポンプ自動車を更新した。
- 昭和34年10月 第9、14、15、19分団配置の小型動力ポンプを更新した。
- 11月 第3分団配置の消防ポンプ自動車を更新した。
- 昭和35年10月 第8、16、17、18、20分団配置の小型動力ポンプを更新した。
- 昭和36年10月 第10、11、12、13分団配置の小型動力ポンプを更新した。
- 昭和37年4月 消防団条例の一部改正により、団員定数605名とした。
- 11月 第7分団配置の消防ポンプ自動車を更新した。
- 昭和39年6月 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例が町議会で可決され、同4月1日から施行となる。
- 昭和41年12月 町役場宿直室と自動車分団4ヶ分団器具置場に消防専用電話を配置した。
- 昭和42年4月 消防団条例の一部改正により、団員定数525名とした。
- 昭和43年11月 第5、21分団配置の小型動力ポンプを更新した。
- 昭和45年6月 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の特例に関する条例制定、昭和46年3月31日から施行した。
- 9月 消防団再編成のため、関係条例の改廃、昭和46年4月1日付再編成することで可決される。
- 11月 第1、2分団配置の消防ポンプ自動車及び第4分団配置の小型動力ポンプを更新した。
- 12月 消防ポンプ自動車1台購入、第6分団配置の小型動力ポンプを更新した。

昭和46年4月 消防団再編成、1団8分団、消防ポンプ自動車6台、小型動力ポンプ16台、団員定数266名となる。

8月 第4分団1部配置の消防ポンプ自動車を更新した。

昭和50年9月 第3分団配置の消防ポンプ自動車を更新した。

昭和51年7月 無線受令機購入、消防団ポンプ自動車に設置した。

昭和52年11月 第6分団1部配置の小型動力ポンプを更新した。

昭和54年3月 第7分団1部配置の小型動力ポンプを更新した。

4月 第4代目消防団長に廣田康夫氏が就任した。
消防団条例の一部改正により、団員定数254名、1団7分団、消防ポンプ自動車5台、小型動力ポンプ16台の編成となる。

11月 第6分団2部、第7分団2部配置の小型動力ポンプを更新した。

昭和58年12月 消防団再編成のため、関係条例の改廃、昭和59年4月1日付再編成することで可決される。

昭和59年2月 消防団再編成に伴う、第6分団1部及び第7分団1部の配置用として、消防ポンプ自動車2台（BS-I型）を購入した。

3月 消防団再編成に伴う、第3分団2部、第6分団2部、第7分団2部の配置用として、小型動力ポンプ積載車3台を購入した。
消防団再編成に伴う、第3分団2部、第6分団2部、第7分団2部の消防器具置場を新築した。

4月 消防団再編成、1団7分団、消防ポンプ自動車（BS-I型）7台、小型動力ポンプ（B3級）付積載車3台、団員定数178名となる。

昭和61年11月 第4分団配置の消防ポンプ自動車（BS-I型）を購入した。

昭和62年4月 第5代目消防団長に和久津和夫氏が就任した。

9月 第1分団配置の消防ポンプ自動車（BS-I型）を購入した。

昭和63年10月 第5分団配置の消防ポンプ自動車（BS-I型）を購入した。

12月 消防団用無線局（車載用10、携帯用15）

平成2年10月 第2分団配置の消防ポンプ自動車（BS-I型）を更新した。
第7分団第2部小型動力ポンプ1台を更新した。

平成6年3月 第7分団第2部小型動力ポンプ積載車1台を更新した。

平成7年2月 第6分団第2部配置の小型動力ポンプ付積載車1台を更新した。

11月 第3分団第2部配置の小型動力ポンプ付積載車1台を更新した。

12月 第3分団第2部の消防器具置場を移転した。

平成8年10月 第6分団第1部配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

平成9年3月 第4分団の消防器具置場を移転した。

平成10年2月 第7分団第1部配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

4月 消防団再編成1団10分団、消防ポンプ自動車7台、小型動力ポンプ付積載車3台、団員定数184名となる。

平成11年3月 第4分団配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

平成12年2月 第1分団配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

4月 第6代目消防団長に大原良洋氏が就任した。

12月 第2分団の消防器具置場を新築した。

平成13年3月 第5分団配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

平成15年3月 第3分団配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

10月 大原消防団長死去により、野本副団長が団長職務代理者に就任した。

平成16年1月 第7代目消防団長に野本治重氏が就任した。

2月 第2分団配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

12月 第9分団機械器具置場に会議室を増築した。

平成17年10月 第7分団機械器具置場に会議室を増築した。

平成20年3月 第10分団機械器具置場に会議室を増築した。

平成22年2月 第10分団配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

3月 第8分団機械器具置場を新築した。

平成23年2月 第8分団配置の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

10月 第6分団配備の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

平成24年3月 第1分団の消防機械器具置場を新築した。

9月 第7分団配備の消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。

平成25年3月 第3分団の消防機械器具置場を移転新築した。

平成26年3月 第9分団配備の消防ポンプ車（CD-I型）を更新した。

4月 第8代目消防団長に黒須秀一氏が就任した。

平成27年2月 第4分団配備の消防ポンプ車（CD-I型）を更新した。

11月 第1分団配備の消防ポンプ車（CD-I型）を更新した。

平成29年2月 第5分団配備の消防ポンプ車（CD-I型）を更新した。

平成31年1月 第3分団配備の消防ポンプ車（CD-I型）を更新した。

令和2年1月 第2分団配備の消防ポンプ車（CD-I型）を更新した。

4月 第9代目消防団長に糸井政樹氏が就任した。

令和4年8月 第33回埼玉県消防操法大会において桶川市消防団が第3位に入賞した。

《 北本市消防団 》

- 昭和18年2月11日 中丸村と石戸村が合併して北本宿村となる。
- 5月13日 旧中丸、石戸両警防団解散、北本宿警防団として発足した。
警防団長に小林栄一氏が就任した。
- 昭和22年2月4日 警防団長に田島此助氏が就任した。
- 10月30日 北本宿村警防団改革、北本宿村消防団として発足した。
- 昭和25年8月28日 消防団長に大島武治氏が就任した。
- 昭和27年4月1日 三輪消防ポンプ自動車を購入した。
- 8月31日 消防団長に斉藤貞雄氏が就任した。
- 12月25日 消防団本部として10名の団員をもって独立、三輪消防ポンプ自動車を団本部に配置した。
- 昭和28年4月10日 小型動力ポンプ2台購入、第1分団、第9分団に配置した。
- 昭和29年6月28日 小型動力ポンプ7台購入、第2分団、第3分団、第4分団、第5分団、第6分団、第7分団、
第8分団に配置した。
- 9月1日 消防ポンプの動力化にともない、各分団とも15名編成に統一する。
- 昭和32年4月29日 小型動力ポンプ2台購入、第4分団、第9分団に配置した。
- 昭和34年9月1日 消防団長に岡野春吉氏が就任した。
- 11月3日 町制施行により北本町消防団と改称する。
- 昭和36年11月15日 消防ポンプ自動車購入、消防団本部に配置、三輪消防ポンプ自動車は廃車
- 12月27日 第4分団より第10分団が独立する。
- 昭和37年4月1日 特設消防団を昇格させ第11分団とする。
- 昭和38年11月19日 小型動力ポンプ購入、第1分団に配置した。
- 昭和39年11月28日 小型動力ポンプ購入、第10分団に配置した。
- 昭和40年8月31日 消防団長に菊池勝一氏が就任した。
- 12月2日 小型動力ポンプ購入、第8分団に配置した。
- 昭和41年10月1日 上水道給水開始、消火栓使用可能となる。
- 11月7日 小型動力ポンプ4台購入、第3分団、第5分団、第6分団、第11分団に配置した。
- 昭和42年7月20日 消防団本部を第2分団に改称、第2分団を第12分団に改称する。
- 10月30日 消防ポンプ自動車購入、第8分団に配置した。
小型動力ポンプ購入、第7分団に配置した。
- 昭和43年9月3日 消防ポンプ自動車購入、第10分団に配置した。
- 11月25日 小型動力ポンプ購入、第12分団に配置した。
- 昭和44年9月4日 消防ポンプ自動車購入、第9分団に配置した。
- 9月30日 小型動力ポンプ購入、第4分団に配置した。

昭和46年9月3日 消防団長に清水茂巳氏が就任した。
11月3日 市制施行により北本市となる。
北本市消防団と改称する。

昭和49年9月16日 小型動力ポンプ付積載車購入、第7分団に配置した。

昭和50年3月31日 第2分団消防ポンプ自動車車庫を北本市本宿1丁目7番地に落成する。
第4分団消防ポンプ自動車車庫を北本市大字石戸宿1061番2に落成する。

昭和52年4月1日 北本市消防団組織を12ヶ分団182名から6ヶ分団134名に編成替えする。
11月2日 消防ポンプ自動車2台購入、第1分団、第2分団に配置（第2分団の旧ポンプ車は、廃車）

昭和53年3月30日 第1分団消防ポンプ自動車車庫を北本市大字北中丸2340番地1に落成する。

昭和54年3月31日 第3分団消防ポンプ自動車車庫を北本市深井7丁目341番地に落成する。

昭和55年2月20日 消防ポンプ自動車購入、第4分団に配置した。
3月31日 第5分団消防ポンプ自動車車庫を北本市大字荒井1242番地4に落成する。
4月1日 消防団長に柳井茂巳氏が就任した。

昭和58年11月1日 消防団長に柳瀬静扶氏が就任した。

昭和59年9月1日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第5分団に配置した。

昭和60年7月29日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第3分団に配置した。

昭和62年3月31日 第6分団消防ポンプ自動車車庫を北本市大字高尾2475番地3に落成する。
8月20日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第6分団に配置した。

平成2年11月20日 小型動力ポンプ（B3級）3台購入、第1分団、第5分団、第6分団に配置した。

平成4年1月22日 小型動力ポンプ（B3級）3台購入、第2分団、第3分団、第4分団に配置した。
10月29日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第1分団に配置した。

平成5年9月28日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第2分団に配置した。

平成7年4月1日 消防団長に加藤望氏が就任した。

平成8年8月20日 第19回埼玉県消防操法大会において第2分団が第3位に入賞する。

平成9年3月30日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第4分団に配置した。

平成11年2月30日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第5分団に配置した。

平成12年2月9日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第3分団に配置した。

平成13年4月1日 消防団長に新井英次氏が就任した。

平成14年3月20日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第6分団に配置した。

平成16年3月31日 第3分団消防ポンプ自動車車庫を北本市深井5丁目116番地に落成する。

平成18年9月29日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第1分団に配置した。

平成19年4月1日 消防団長に道祖土友光氏が就任した。
消防副団長を2名体制に変更した。
8月30日 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、第2分団に配置した。

平成24年3月30日 第4分団消防ポンプ自動車車庫を改築した。

平成25年2月15日 消防ポンプ自動車（CD－I型）購入、第4分団に配置した。

4月1日 消防団長に中村英昭氏が就任した。

平成27年1月15日 消防ポンプ自動車（CD－I型）購入、第5分団に配置した。

7月15日 第2分団消防ポンプ自動車車庫を改築した。

平成28年1月28日 消防ポンプ自動車（CD－I型）購入、第3分団に配置した。

4月1日 消防団長に広川明彦氏が就任した。

平成30年2月18日 消防ポンプ自動車（CD－I型）購入、第6分団に配置した。

8月4日 第30回埼玉県消防操法大会において第3分団が優秀賞を受賞する。

令和2年1月30日 第1分団、第5分団消防ポンプ自動車車庫を建て替えた。

令和3年2月4日 消防団指揮車を購入、消防団本部に配置した。

令和4年4月1日 消防団長に武井一夫氏が就任した。

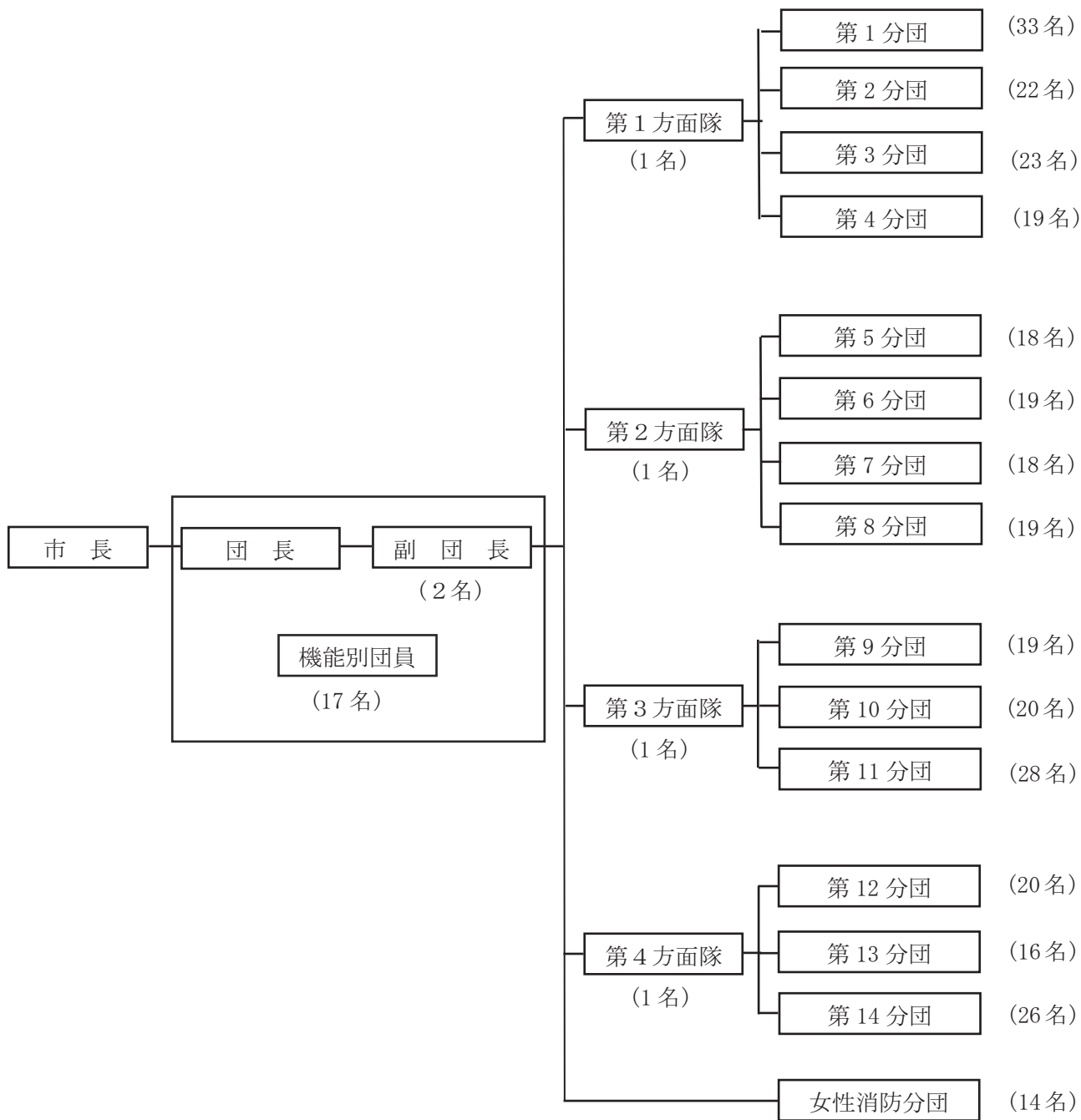
令和4年9月4日 消防ポンプ自動車（CD－I型）購入、第1分団に配置した。

令和5年7月30日 消防ポンプ自動車（CD－I型）購入、第2分団に配置した。

消防団組織機構図

令和6年4月1日

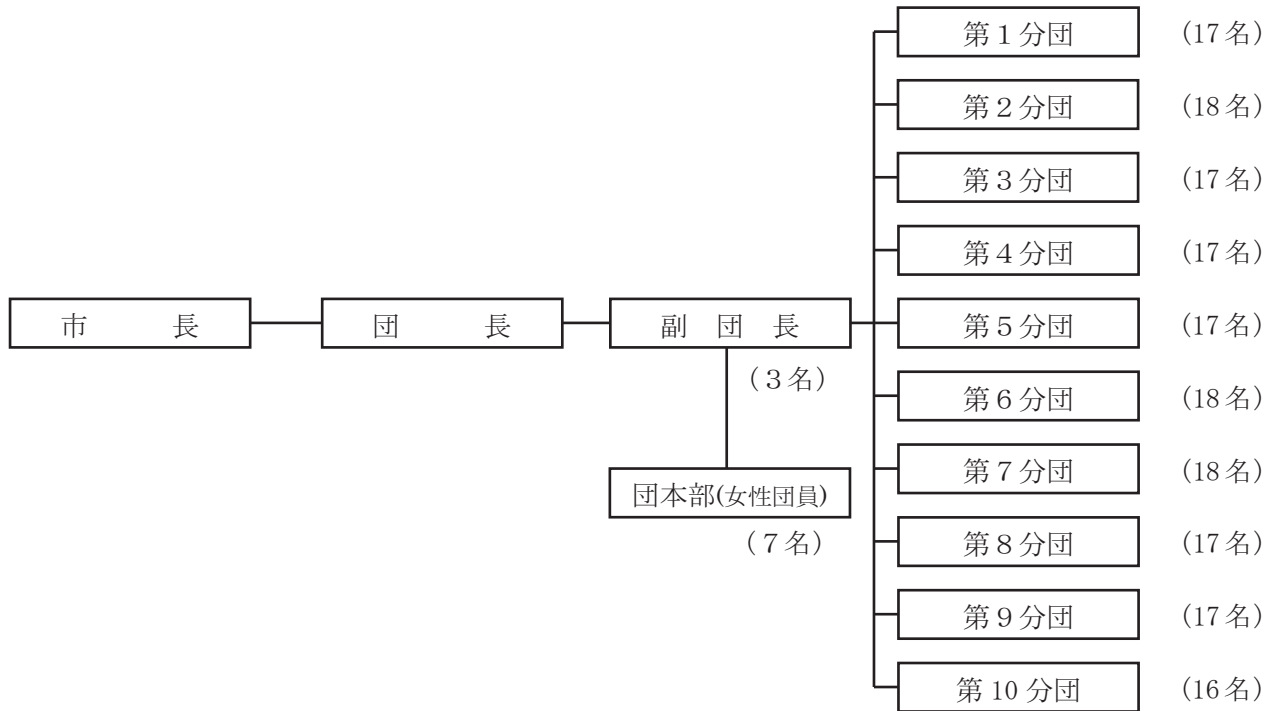
◎鴻巣市 321人



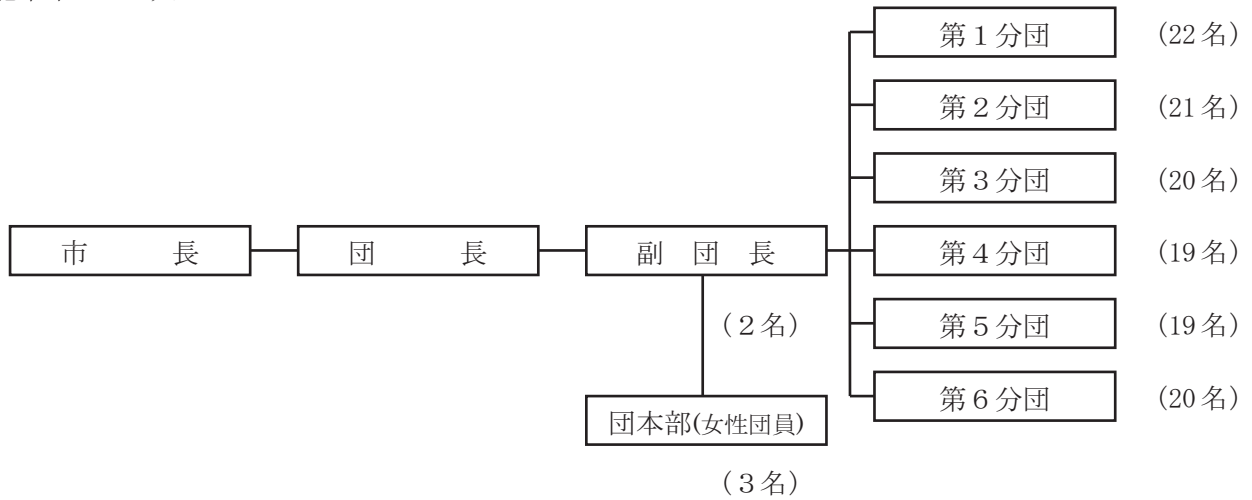
※ 令和6年4月1日の分団再編により、分団名を方面隊順に欠番を無くし整理した。

※ 人数については、実員数を表す。

◎桶川市 183人



◎北本市 127人



※ 人数については、実員数を表す。

消防団施設一覧表

令和6年4月1日

団名	区分	所在地	庁舎・その他の施設			
			構造	階数	延面積	備考
鴻 巣 市 消 防 団	団本部	中央801-1				鴻巣市役所内
	第1分団	人形2丁目2467-5	軽量鉄骨造	2	89.00m ²	
	第2分団	宮地4丁目127-1	鉄骨造	2	99.73m ²	
	第3分団	原馬室921-2	軽量鉄骨造	2	72.90m ²	
	第4分団	下谷243	鉄骨造	2	99.55m ²	
	第5分団	郷地951-4	軽量鉄骨造	2	81.90m ²	
	第6分団	新井451	鉄骨造	2	83.10m ²	
	第7分団	広田874-2	鉄骨造	2	93.89m ²	
	第8分団	屈巣4529-5	鉄骨造	2	94.60m ²	
	第9分団	登戸155-1	鉄骨造	2	99.55m ²	
	第10分団	箕田347-5	鉄骨造	2	99.55m ²	
	第11分団	小谷1933-1	鉄骨造	2	54.54m ²	
	第12分団	吹上本町4丁目2699-3	鉄骨造	2	128.00m ²	
	第13分団	大芦1543-2	鉄骨造	2	55.38m ²	
	第14分団	下忍3235-2	鉄骨造	2	54.54m ²	
	旧第2分団	本町6丁目2447-5	鉄骨造	2	74.66m ²	令和6年4月1日 第1分団と統合
	旧第15分団	榎戸2丁目141-4	鉄骨造	2	55.20m ²	令和4年4月1日 第14分団と統合
旧第17分団	小谷685-2	鉄骨造	2	42.82m ²	令和6年4月1日 第11分団と統合	
旧第19分団	鎌塚251-3	鉄骨造	2	55.38m ²	令和4年4月1日 第18分団と統合	
女性消防分団	中央801-1				鴻巣市役所内	

団名	区分	所在地	庁舎・その他の施設			
			構造	階数	延面積	備考
桶川市消防団	団本部	泉1丁目3番28号				桶川市役所内
	第1分団	南1丁目8番12号	鉄骨造	2	75.67m ²	
	第2分団	北1丁目1番15号	鉄骨造	2	62.46m ²	
	第3分団	泉1丁目5番46号	鉄骨造	2	75.67m ²	
	第4分団	下日出谷西2丁目9番地の20	鉄筋コンクリート造	2	67.68m ²	
	第5分団	朝日1丁目22番8号	木造モルタル	1	51.00m ²	
	第6分団	大字上日出谷919番地の1	鉄骨造	2	67.68m ²	
	第7分団	大字坂田951番地の1	軽量鉄骨造	1	48.60m ²	
	第8分団	大字加納2140番地の1	鉄骨造	2	71.44m ²	
	第9分団	大字川田谷1218番地の1	軽量鉄骨造	1	66.49m ²	
	第10分団	大字川田谷4683番地の1	軽量鉄骨造	1	53.46m ²	
北本市消防団	団本部	本町1丁目111番地				北本市役所内
	第1分団	北中丸1丁目114番地	鉄骨造	2	79.48m ²	令和2年1月30日建替
	第2分団	本宿1丁目7番地	鉄骨造	2	60.30m ²	平成27年7月15日改築
	第3分団	深井5丁目116番地2	鉄骨造	2	71.01m ²	
	第4分団	石戸宿3丁目177番地	鉄骨造	2	83.94m ²	
	第5分団	荒井2丁目463番地	鉄骨造	2	79.48m ²	令和2年1月30日建替
	第6分団	高尾2丁目53番地	鉄骨造	2	66.14m ²	

消防自動車等配置状況

令和6年4月1日

団名	種別	車名及び型式	級別	登録年月	
鴻巣市消防団	団本部	本警部車 戒車	ニッサン GB-SKZF23 三菱 GBD-U61V		平成8年8月 平成23年10月
	第1分団	ポンプ車 可搬消防ポンプ	いすゞ BDG-NMR85N シバウラ TF35SES	A 2級 B 3級	平成20年1月 平成11年2月
	第2分団	ポンプ車 可搬消防ポンプ 〃	いすゞ PB-NKR81N シバウラ TF35SES 〃	A 2級 B 3級 〃	平成19年2月 平成10年2月 平成11年2月
	第3分団	ポンプ車 可搬消防ポンプ	日野 TKG-XZU640M シバウラ TF35SES	A 2級 B 3級	平成28年6月 平成11年2月
	第4分団	ポンプ車 可搬消防ポンプ 〃	日野 BDG-XZU334M シバウラ TF35SES 〃	A 2級 B 3級 〃	平成23年3月 平成10年2月 平成11年2月
	第5分団	ポンプ車 可搬消防ポンプ	日野 TPG-XZU640M シバウラ TF35SES	A 2級 B 3級	平成30年12月 平成11年2月
	第6分団	ポンプ車	日野 TKG-XZU640M	A 2級	平成24年12月
	第7分団	ポンプ車	日野 TPG-XZU640M	A 2級	平成30年3月
	第8分団	ポンプ車	日野 TKG-XZU640M	A 2級	平成26年1月
	第9分団	ポンプ車 可搬消防ポンプ	日野 TKG-XZU640M シバウラ TF35SES	A 2級 B 3級	平成24年12月 平成10年2月
	第10分団	ポンプ車 可搬消防ポンプ	いすゞ PB-NKR81N シバウラ TF35SES	A 2級 B 3級	平成18年3月 平成10年2月
	第11分団	ポンプ車	日野 BDG-XZU334M	A 2級	平成23年3月
	第12分団	ポンプ車	日野 TKG-XZU640M	A 2級	平成24年12月
	第13分団	ポンプ車	日野 TKG-XZU640M	A 2級	平成27年2月
	第14分団	ポンプ車	日野 TKG-XZU640M	A 2級	平成24年12月
女性消防分団	警部車 戒車	スズキ HBD-DA64V改		平成26年11月	

団 名		種 別	車 名 及 び 型 式	級 別	登 録 年 月
桶 川 市 消 防 団	第 1 分 団	ポ ン プ 車	日 野 TKG-XZU640M	A 2 級	平成27年11月
	第 2 分 団	〃	日 野 2RG-XZU640M	A 2 級	令和元年10月
	第 3 分 団	〃	日 野 TPG-XZU640M	A 2 級	平成31年 1 月
	第 4 分 団	〃	日 野 TKG-XZU640M	A 2 級	平成27年 2 月
	第 5 分 団	〃	日 野 TKG-XZU640M	A 2 級	平成29年 2 月
	第 6 分 団	ポ ン プ 車	日 野 SKG-XZU640M	A 2 級	平成23年10月
		可 搬 消 防 ポ ン プ	シバウラ SF655M-C	B 3 級	平成 7 年11月
	第 7 分 団	ポ ン プ 車	日 野 SKG-XZU640M	A 2 級	平成24年 9 月
	第 8 分 団	ポ ン プ 車	日 野 BDG-XZU334M	A 2 級	平成23年 2 月
		可 搬 消 防 ポ ン プ	シバウラ SF655M-C	B 3 級	平成 7 年 2 月
第 9 分 団	ポ ン プ 車	日 野 TKG-XZU640M	A 2 級	平成26年 3 月	
第 10 分 団	ポ ン プ 車	日 野 BDG-XZU334M	A 2 級	平成22年 2 月	
	可 搬 消 防 ポ ン プ	シバウラ TF35MES-B	B 3 級	平成 2 年10月	
北 本 市 消 防 団	団 本 部	本 部 指 揮 車	スズキ HBD-DA17V		令和 3 年 2 月
	第 1 分 団	ポ ン プ 車	日 野 2PG-XZU640M	A 2 級	令和 4 年 8 月
		可 搬 消 防 ポ ン プ	シバウラ B612 TF-35	B 3 級	平成 2 年11月
	第 2 分 団	ポ ン プ 車	日 野 2RG-XZU600E	A 2 級	令和 5 年 6 月
		可 搬 消 防 ポ ン プ	シバウラ B612 TF-35	B 3 級	平成 4 年 1 月
	第 3 分 団	ポ ン プ 車	日 野 TKG-XZU640M	A 2 級	平成28年 1 月
		可 搬 消 防 ポ ン プ	シバウラ B612 TF-35	B 3 級	平成 4 年 1 月
	第 4 分 団	ポ ン プ 車	日 野 TKG-XZU640M	A 2 級	平成25年 2 月
		可 搬 消 防 ポ ン プ	シバウラ B612 TF-35	B 3 級	平成 4 年 1 月
	第 5 分 団	ポ ン プ 車	日 野 TKG-XZU640M	A 2 級	平成26年12月
第 6 分 団	ポ ン プ 車	日 野 TPG-XZU640M	A 2 級	平成29年12月	
	可 搬 消 防 ポ ン プ	シバウラ B612 TF-35	B 3 級	平成 2 年11月	

市別団員数

令和6年4月1日

団名	階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
	鴻巣市消防団	定員	1	6	15	15	15	30	275
実員		1	6	15	15	15	30	256	338
桶川市消防団	定員	1	3	10	10	10	10	140	184
	実員	1	3	10	10	10	10	139	183
北本市消防団	定員	1	2	6		12	24	90	135
	実員	1	2	6		12	24	82	127
合計	定員	3	11	31	25	37	64	505	676
	実員	3	11	31	25	37	64	477	648

団員階級別勤続年数

令和6年4月1日

勤続年数		階級							合 計
		団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
鴻 巣 市 消 防 団	5 年 未 満							64	64
	5 年 以 上 10 年 未 満							65	65
	10 年 以 上 15 年 未 満				2	4	9	70	85
	15 年 以 上 20 年 未 満		1	1	4	2	8	32	48
	20 年 以 上 25 年 未 満		1	6	4	3	9	14	37
	25 年 以 上 30 年 未 満			1	4	5	3	9	22
	30 年 以 上 35 年 未 満		2	6	1	1	1	1	12
	35 年 以 上	1	2	1				1	5
	計	1	6	15	15	15	30	256	338
桶 川 市 消 防 団	5 年 未 満						1	31	32
	5 年 以 上 10 年 未 満			1		1	1	24	27
	10 年 以 上 15 年 未 満				1	3	6	18	28
	15 年 以 上 20 年 未 満			6	5	1	1	13	26
	20 年 以 上 25 年 未 満		1	3	2	4		18	28
	25 年 以 上 30 年 未 満				2	1	1	24	28
	30 年 以 上 35 年 未 満		2					9	11
	35 年 以 上	1						2	3
	計	1	3	10	10	10	10	139	183
北 本 市 消 防 団	5 年 未 満							31	31
	5 年 以 上 10 年 未 満						3	34	37
	10 年 以 上 15 年 未 満					5	14	10	29
	15 年 以 上 20 年 未 満			3		3	5	4	15
	20 年 以 上 25 年 未 満		1	2		4	2	3	12
	25 年 以 上 30 年 未 満		1	1					2
	30 年 以 上 35 年 未 満	1							1
	35 年 以 上								
	計	1	2	6		12	24	82	127
合 計		3	11	31	25	37	64	477	648